

平成21年度 特定非営利活動法人ぬくもり福祉会 たんぽぽ

「認知症です」と言い合える地域づくり事業

# 講演会のお知らせ

今、全国で認知症の方が170万人おられ、平成27年には250万人にもなるといわれております。

又、最近では若年性認知症の方への社会的な関心も集まっております。そこで、たんぽぽでは、認知症はだれでもなる可能性がある病気ですし、周囲の理解と地域の支えが大切であることから、「認知症です」と言い合える地域づくりをはじめました。

テーマ：「認知症の正しい知識と理解について」  
～ 今日からあなたも応援者  
正しい理解が やさしい地域をつくります～

講師：山口 晴保（やまぐち はるやす）先生  
群馬大学医学部保健学科教授  
医師。日本リハビリテーション医学会専門医。

日時：平成21年12月13日（日）  
受付13：00～ 講演会13：30～15：30

定員：300名（先着順）

会場：飯能市市民会館 小ホール（裏面に地図があります）  
〒357-0063 埼玉県飯能市飯能226-2 TEL：042-972-3000

この講演会は、厚生労働省「認知症を知り地域をつくる」キャンペーンの一環の、認知症サポーター研修としても位置づけられます。

受講された方には、認知症の人や家族を温かく見守る応援者の「目印」**オレンジリング**をお渡しします。

当日は、手話・託児など、専門スタッフが対応いたします。お申込み時に、お話しください。

## 申込み・お問合せ

特定非営利活動法人  
ぬくもり福祉会 たんぽぽ  
TEL：042-972-8611  
FAX：042-972-4115  
担当：岡田、平野

後援 飯能市

## 経歴

山口 晴保 (HARUYASU YAMAGUCHI)

群馬大学医学部保健学科・教授 / 日本認知症学会理事

1976年03月：群馬大学医学部を卒業。

1976年04月：群馬大学大学院に進学し、第一病理学教室で神経病理学を学ぶ。  
この間、東大医科免疫学教室で川村明義教授より蛍光抗体法のアルツハイマー病の病理学的研究を開始。

1986年04月：群馬大学 医療技術短期大学部 理学療法学科 助教授に就任。

1990年12月：文部省在外研究員としてハーバード医科大学神経学教室へ滞在。  
(10か月間) セルコー教授の元で、Alzheimer病の研究に従事。

1993年03月：医療短大 教授に昇任。

1996年10月：群馬大学医学部保健学科に組織替え。神経学や神経解剖学を担当。

1998年01月：オランダライデン大学医学部のアルツハイマー病研究担当の客員教授。  
(1年間) オランダ型遺伝性アミロイド性脳出血の研究を指導。

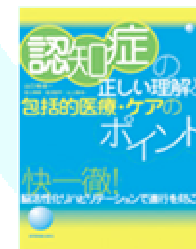
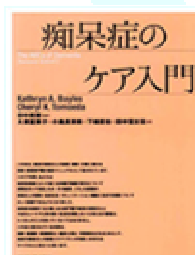


専門は、アルツハイマ病の神経病理学や、リハビリテーション医学。  
(日本リハビリテーション医学会専門医)

アルツハイマ病の病態解明を目指して、脳βアミロイド沈着機序をテーマに28年にわたって研究を続けてきた。この実績を生かし、現在、認知症の進行を防ぐ脳活性化リハビリテーションにも取り組んでいる。  
一方、群馬県の地域リハビリテーション連携システム作りを注ぎ、2006年から、「介護予防サポーター」の育成を進めてきた。

2005年に「認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント 快一徹！脳活性化リハビリテーションで進行を防ごう」(協同医書出版)を出版。

群馬認知症アカデミー代表幹事、日本認知症学会理事、日本老年精神医学会評議員、日本認知症ケア学会評議員、第27回日本認知症学会学術集会(2008,10前橋)会長を務める。



著書 協同医書出版社

<http://www.igodo-ishoo.co.jp/index.html>

前橋市市民会館付近の地図